

ウィークリー・ブレッド・オブ・ライフ  
(2024年1月15日(月)～21日(日))

岸和田聖書教会  
牧師 栗原純人

「ブレッド・オブ・ライフ」とは「いのちのパン」(ヨハネ 6:48)。「わたしはいのちのパンです」と言われるイエス・キリストさまに聞きましょう。今日一日の力です。以下の手順を参考に聖書を読みましょう。

1. 静まります。「しかし私は 義のうちに御顔を仰ぎ見 目覚めるとき 御姿に満ち足りるでしょう。」(詩篇 17:15)
2. 声に出してその日の聖書日課を読みます。
3. 気づいたこと、わからないことなどを箇条書きし、その後『みことばの光』、このブレッド・オブ・ライフの文章を読みます。わかったことがあったら、さらに書いてみましょう。
4. もう一度、聖書日課を読みます。違う響きがあるでしょうか？
5. 祈りましょう。実際に声に出して。そして祈りの中心部分を書いてみましょう。一日の終わりに、今朝の聖書を思い起こし、みことばがどのように生きたか、思い巡らしましょう。

今週も、マタイの福音書の「山上の説教」を読んでいきます。山上の説教はイエスさまそのものです。そして、あなたのことです。

1月15日(月)

今日の聖書日課：マタイ 7:1～14

ですから、人からしてもらいたいことは何でも、あなたがたも同じように人にしなさい。これが律法と預言者です。 マタイ 7:12

いわゆる「黄金律」と言われていることば。しかし、それは「ですから」ということばで始まります。「ですから」とは、天の父は求める者たちに、良いものを与えてくださるという前の節を受けています。「人からしてもらいたいこと」とは、単にイメージするというのではなく、実際に神さまが自分に良きものをくださった、という体験から出てくるものなのです。「これが律法と預言者です」とは、これが聖書です、ということ。

1月16日(火)

今日の聖書日課：マタイ 7:15～29

イエスがこれらのことばを語り終わられると、群衆はその教えに驚いた。イエスが、彼らの律法学者たちのようにではなく、権威ある者として教えられたからである。 マタイ 7:28～29

長い「山上の説教」が終わった直後の、群衆の感想です。律法学者たちとイエスの違い。それは、イエスは権威ある者として語られたということ。「しかし、わたしはあなたがたに言います。」(5:22)。このような言い方をイエスは何度もされました。「わたし」メッセージです。しかしイエスは単なる自分の理想を語ったのではありません。イエスが語ることは、まんまイエス自身のことだったのです。山上の説教は聞けば聞くほど「自分にはムリ！」と思います。しかし山上の説教を聞くとき、それはイエスのことだ、と思いながら聞いてください。そのお方とともに歩くこと。それが信仰の道なのです。

1月17日(水)

今日の聖書日課：マタイ8：1～17

イエスはこれを聞いて驚き、ついて来た人たちに言われた。「まことに、あなたがたに言います。わたしはイスラエルのうちのだれにも、これほどの信仰を見たことがありません。」

マタイ8：10

イエスさまが驚くなんて！そんなことがあったんだ。と思います。中風のためにひどく苦しむしもべを持つ百人隊長、この人がイエスを驚かせました。信仰によって。イスラエルではない、ユダヤ人でない外国人が。それは「おことばを下さい」(8)という「みことば信仰」。

あなたもイエスさまを驚かせることができるでしょうか？できます。みことばがあなたに語られている限り。

1月18日(木)

今日の聖書日課：マタイ8：18～34

すると見よ。町中の人イエスに会いに出て来た。そして、イエスを見ると、その地方から立ち去ってほしいと懇願した。マタイ8：34

イエスが悪霊を追い出した。二人の人が救われたのです。町中の人はこの二人を見ました。たしかのあの有名な悪霊つきだ。彼らにはわかりました。しかしその反応は？彼らはイエスを追い出したのです。悪霊を追い出す神の人を迎えるのではなく、立ち去ってほしいと懇願したのです。なぜでしょう？多数の豚の群れが悪霊につかれたことにより崖を下って湖になだれ込み、水に溺れて死んだからです。この町の大事な財産がなくなったからです。

目の前のことをどのように理解するか？豚を見るのか、救われた人を見るのか。あなたにとってイエスさまとはどんな方でしょうか？

1月19日(金)

今日の聖書日課：マタイ9：1～13

イエスはそこから進んで行き、マタイという人が収税所に座っているのを見て、「わたしについて来なさい」と言われた。すると、彼は立ち上がってイエスに従った。マタイ9：9

一瞬の出来事でした。イエスがマタイを見る。「わたしについて来なさい」と言う。するとマタイは立ち上がりイエスに従った。イエスがマタイを見、彼に語りかけるとき、きっとマタイもイエスを見たことでしょう。見つめ合う二人。そこで語られたみことば。

私たちがみことばを聞くとき大切にしたい。イエスさまの目を見ること。私を見つめるイエスさまを見ること。みことばは目と耳から入ってきます。

1月20日(土)

今日の聖書日課：マタイ9：14～26

イエスは振り向いて、彼女を見て言われた。「娘よ、しっかりしなさい。あなたの信仰があなたを救ったのです。」すると、その時から彼女は癒された。マタイ9：22

並行箇所マルコ5章では、12年長血をわずらった女がイエスに触れるとその時、癒されました(マルコ5：29)。しかしここでは、イエスのことばの後で癒されたと記されています。矛盾ではありません。みことばを聞いた彼女が救われた(欄外注)ことを示したかったのです。

1月21日(日) 本日の礼拝説教箇所：マタイ5：1～10「心のきよい者は幸いです」鍛冶直紀兄